

教科名【 美術 】

学習目標（「身に付けたい力」）

◎表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情と感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばすとともに、豊かな情操を養う。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間 45 時間	年間 35 時間	年間 35 時間
1 学期	○オリエンテーション 授業に対する心構え、美術に集中し時間を有効に使う。 ○素描（鉛筆デッサン） 新しい気持ちで素直に一生懸命描く。 ○鑑賞（友達の作品を見て） ○静物画 身近なものの中から題材を選び構成を工夫して描く。 ○レタリング 明朝体・ゴシック体の基礎を学ぶ。 ○ポスター 伝達デザインの表現力養う。	○オリエンテーション 授業に対する心構え。 ○模写 教科書から自分のNO1を選び、模写をする。 ○水滴を描く 手順に沿ってリアルに描く ○漫画で表現する。 漫画表現の効果を生かし、漫画ならではの表現に挑戦する。 ○サンドブラスト（ガラス彫刻） 材料の性質を生かした構造や制作方法を工夫させる。 ○ポスター 伝達デザインの表現力養う。	○オリエンテーション 授業に対する心構え。 ○想像・空想画 「もしもこんな世界があったら」主題をはっきりさせて描く。 ○仏像の見方 位を理解する（修学旅行含む） ○ポスター 伝達デザインの表現力養う。 ○ゼンタングル ハッチングの技法を理解し、密度のある表現をする。
2 学期	○鑑賞（ポスターを見て） 他者の作品から良いところを発見する。 ○色彩の学習 （明度・彩度・色相等） 色について基礎的な知識を理解し、効果的な表現ができるようにする。 ○平面構成 色彩を生かした表現ができるようにする。 ○絵文字 文字の制作を通して、伝達デザインの表現力を養う。	○鑑賞（ポスターを見て） 他者の作品から良いところを発見する。 ○立体感のある平面構成 一点透視、二点透視を理解して、立体的な画面を構成する。 ○ピクトグラム 色や形で視覚的に表現する。	○鑑賞（ポスターを見て） 他者の作品から良いところを発見する。 ○スクラッチ スクラッチの技法を理解し、削り方を工夫し、描いていく。 ○墨で描く 墨の特徴を生かしてモノクロームの表現を楽しむ。

3 学 期	○板材で作る 彫る・磨く・塗るなどの技術を身につける。身近で使うもののデザインをして作る楽しさと使う喜びを味わう。 ○鑑賞 作者の心情や意図と表現の工夫など感じ取り自分の思いや考えを持って味わうことができる。	○工芸 伝統工芸に親しむ。 ○鑑賞(ゲルニカ) 作者の意図や思いを感じとり親しむ。	○石を彫る(篆刻) 制作方法、手順を理解し、制作方法を工夫する共に、個性的な創作表現をする。 ○鑑賞(日本の美術) 日本美術の良さや美しさを理解して、親しむ。
-------------	--	---	---

評価の観点と評価内容の予定

観 点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主 な 評 価 方 法 と 内 容	各 学 年 共 通	・創意工夫して、計画的に意欲的に制作できたか。 ・材料や用具の特徴を生かして表現できたか。 ・構想に基づき、効果的に豊かに表現できたか。 ・授業での取り組み姿勢 ・鑑賞の内容 ・ワークシート ・自己評価カード ・定期考査	・自分独自の発想、構想を持っているか。それが作品に表現できているか。 ・いろいろな見方や感じ方を学び取り多様な表現の良さや美しさを味わうことができたか。 ・授業での取り組み姿勢 ・鑑賞の内容 ・ワークシート ・自己評価カード ・定期考査	・授業への準備、片付け、忘れ物 ・授業の内容に関心をもち、工夫して取り組んでいるか。 ・授業での取り組み姿勢 ・鑑賞の内容 ・ワークシート ・自己評価カード ・定期考査